

大気汚染物質等が健康に及ぼす影響に関する総合的研究

39百万円(20百万円)

環境保健部環境安全課

1. 事業の概要

黄砂に関する関心が急速に高まっており、日本まで到達する黄砂(4ミクロン程度)の健康影響について検討すべく、知見の集積を図る。

また、現在、国民の5~6人に1人が罹患するとも言われ、国民的な広がりを見せている「花粉症」に対し、積極的に取組むことが強く求められている。このため、花粉の実態把握のために花粉飛散の予測及び観測の実施、花粉症の原因究明のために花粉症と一般環境との関係解明等を行う。

(1) 黄砂等大気汚染物質の健康影響に関する情報収集(平成20年~)

黄砂による健康影響に関する国内外の情報を収集し、健康影響に関する総合評価を行う。

(2) 花粉症に関する調査研究(平成3年~)

平成20年度からは、スギ・ヒノキ科花粉予測システムの稼働、スギ・ヒノキ科以外の花粉観測・予測の検討・実施、スギ・ヒノキ科花粉飛散予測の情報提供に関する検討も行うことにより、より正確な花粉飛散予測の実現を図る。

2. 事業計画

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
(1) 黄砂等大気汚染物質健康影響情報収集					----->
(2) 花粉症に関する調査研究					>

3. 施策の効果

日本まで到達する黄砂(4ミクロン程度)の健康影響については不明な点が多いが、データに基づいた科学的説明により、国民の安心を促す。

また、花粉飛散の予測情報を、できるだけ早期かつ正確に、国民一般に広く提供することについて、花粉症の患者及び花粉症になる可能性のある国民に対して、発症・増悪の予防に資するものである。

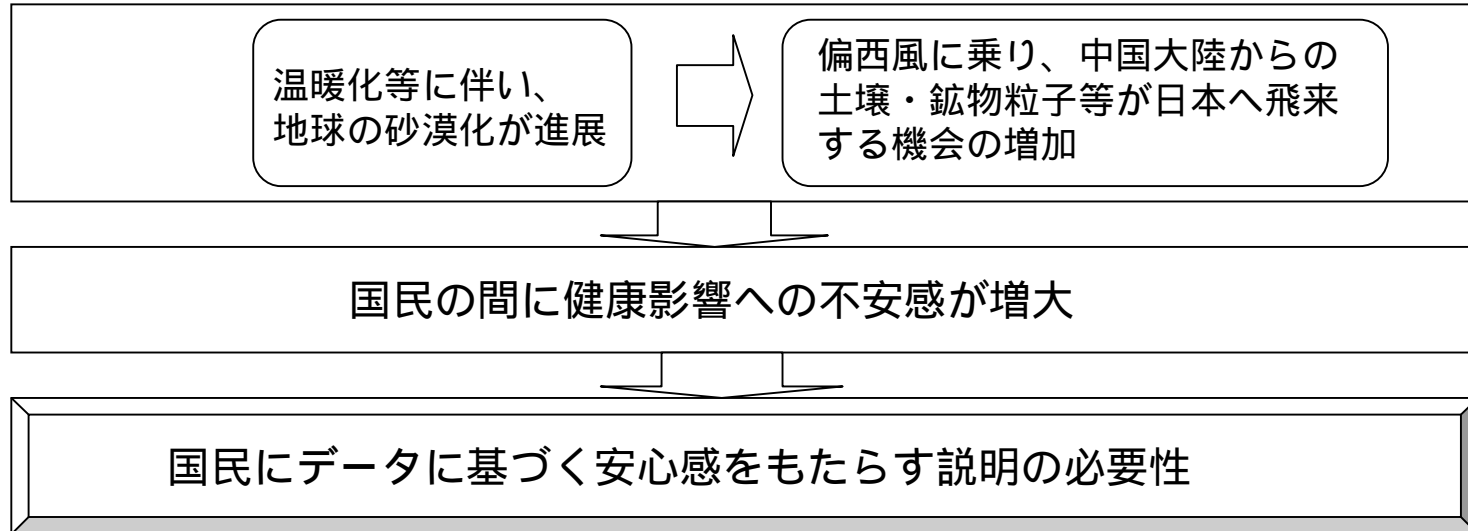
4. 備考

調査費 39,204千円

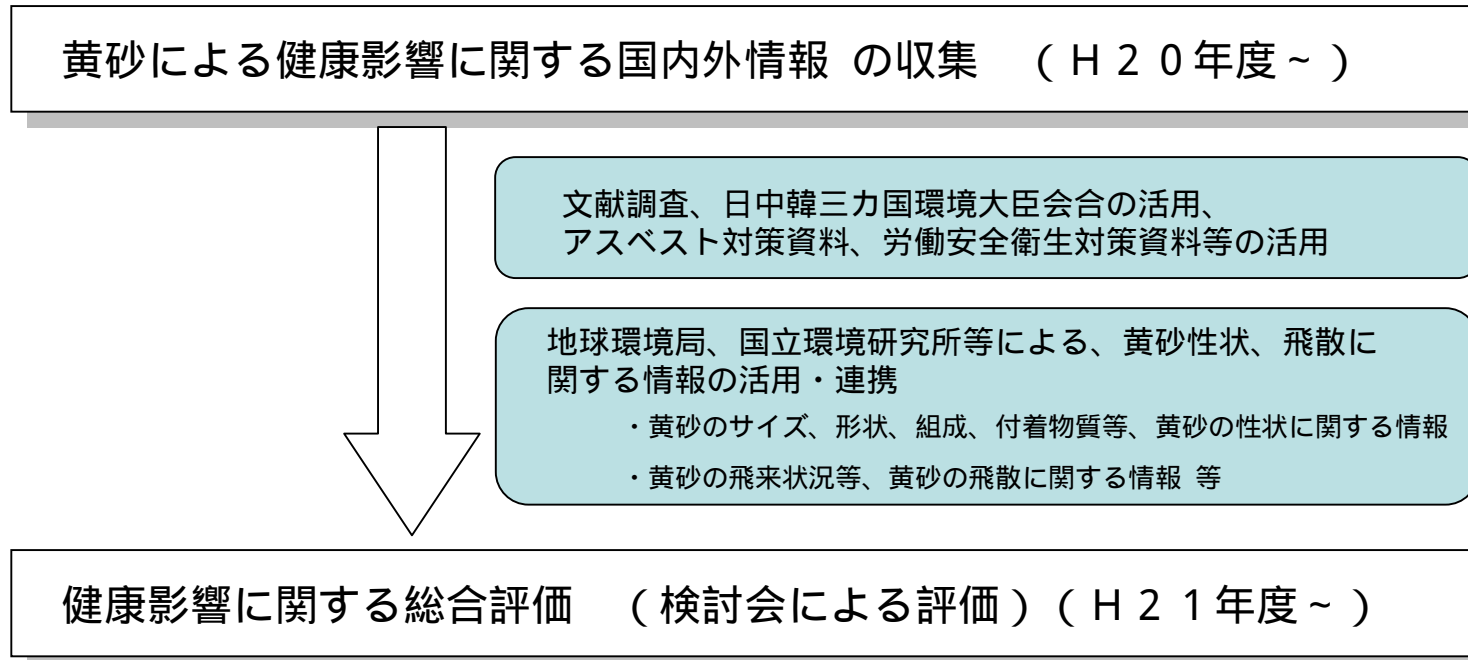
(内訳) 黄砂等大気汚染物質の健康影響に関する情報収集 1,035千円
花粉症に関する調査研究 38,169千円

黄砂等大気汚染物質の健康影響に関する情報収集

【背景】



【事業】



花粉対策の更なる充実強化

【背景】

花粉症：国民の5 - 6人に1人が罹患
年々増加傾向

国民の大きな関心事

対策強化
の必要性

【現状】

内閣府、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、気象庁、環境省の連携の下に推進
発生源対策（農林水産省）、医療対策（厚生労働省）、花粉情報対策（環境省）等

《 花粉情報 》

1．花粉の種類：スギ・ヒノキ科の花粉

2．予測の種類：花粉の飛散前における「花粉の総飛散量」の予測
花粉の「飛散開始時期」の予測
花粉飛散終息予測

花粉観測システム
（はなこさん）と
連携

（* 林野庁のスギ雄花の生育状況、気象庁の気象情報も踏まえて予測）

【問題点】

- 1．スギ・ヒノキ科の花粉予測においては、シーズン全体の飛散量と開始・終息時期の予測のみで、毎日の花粉飛散量の予測はしていない。
- 2．シーズンが春のスギ・ヒノキ科の花粉予測のみに留まっている。

【今後の対応】

- 1．スギ・ヒノキ科の花粉予測において、毎日の花粉飛散量の予測ができる体制の整備
- 2．シーズンが春のスギ・ヒノキ科の花粉予測のみから、初夏のイネ科（カモガヤ等）、真夏から秋口にかけてのキク科（ブタクサ、ヨモギ等）までを対象とした花粉予測の整備